

平成29年第3回定例会

9月4日から15日までの12日間の会期で開催され、報告2件、専決処分1件、補正予算6件、条例4件、人事案件1件、平成28年度決算認定8件、その他4件の議案が提出され、原案のとおり可決・認定しました。

また、陳情2件については、1件の採択と1件継続審査がありました。

決算特別委員会報告

開会初日（9月4日）本会議に提案された平成28年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。委員会は、9月11日12日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月15日の本会議において委員長報告のとおり、全会一致をもって認定されました。



決算委員会を進行する
飯田 進 委員長

監査委員決算審査報告

5月29日(月)、8月7日(月)に、平成28年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計について審査を行い、その結果、次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本 隆行
境町監査委員 斉藤 政雄

一般会計

○歳入財源は、町税収入、国庫支出金、ふるさとづくり寄付金及び茨城さかいソーラー売電収入による寄付金が増となり施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

○歳出は、経費節減や効果的な事業への取り組み等が順調に執行されたものと確認できるが、各種団体等への補助金については、十分に精査して財源の有効活用に努めていただきたい。

特別会計

○独立採算性の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められたい。

○国民健康保険の広域化や介護の

新規事業に伴い、今後の事業内容等にも様々な課題が生じてくる可能性が考えられる。

○下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想される。

水道事業

○水道料金の収納確保や有収率の向上及び経費の節減等に努め、老朽施設・設備の適切な維持管理と大震災の教訓から耐震整備を計画的に進め、安心して利用できる水道水の安定供給を図れるよう要望する。

今後の行財政運営に当たっては、施策内容等を十分に精査し、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民のニーズや社会情勢に対応できる事業等を計画的に実施していくよう望むものである。